

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	狭山緑地管理事業			
担当部署・課長名	環 境 課	緑 化 推 進 係	課 長 名	宮 鍋 和 志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施 策 番 号	4 - 5	-
【施策名】 緑の保全・創出		総 合 計 画 書 (ページ)	91	

予算名	款 8 土木費	項 3 都市計画費	目 3 公園費	事業 2 狭山緑地管理費
-----	---------	-----------	---------	--------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →	人口
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 狭山緑地に来て丘陵地の自然に触れてもらう。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 狭山緑地の来場者数 →
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
狭山緑地を市民の「やすらぎの場」「憩いの場」として保全するため維持管理を行う。	→ ・施設管理委託 年間 ・便所清掃委託 週2回 ・清掃除草委託 清掃：月1回(7, 10月除く) 除草：年2回 ・樹木剪定等委託 7件	

2 指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337	/
	成果指標	②の数値	人	30,980	29,180	29,173	/
	目 標	②の目標値		/	/	/	/
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値		11,439,456	11,777,708	11,300,558	/	

3 経費	事業費(実績)		円	15,610,291	15,827,998	53,242,245	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財 源	一般財源	円	15,610,291	15,827,998	53,242,245	
		特定財源	円	0	0		
	(うち受益者負担)		円				
	人 件 費 (自 安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人	0.3	0.3	0.3	
		職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900	4,122,000	
職員人件費(再任用)		円	1,146,994	906,000	905,700		
事業費+人件費		円	19,237,385	19,209,898	58,269,945		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和60年10月 都市計画決定、昭和60年11月 事業認可取得、昭和60年12月から用地買収開始。 ・狭山丘陵の貴重な緑を保全するため。 	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化 ・ボランティア団体の高齢化による後継者問題 ・都立狭山公園、都立東大和公園との維持管理の差が大きい。 		

仕 事 の 内 容	狭山緑地管理事業			
担当部署・課長名	環 境	課	緑化推進	係 課長名 宮鍋 和志

5 市民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の老朽化 ・適切な樹木の維持管理 			
6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	⑧その他（ボランティア）	
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	<ul style="list-style-type: none"> ・都立公園と比較されてしまうため、イベントなどが無く集客力が低い。 ・雑木林の萌芽更新を行う必要があるが、ボランティアに頼っている状況である。 			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体等との協働 			
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	<ul style="list-style-type: none"> ・狭山緑地の維持管理の方向性 ・狭山緑地を含めた公園全体の維持管理 			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・こども広場も含め利用者の満足度を上げる為にも、効率的・効果的な管理が必要のため、包括的管理委託等の手法を検討し、集客、除草、清掃、剪定及び修繕等を含め全体的な管理をしていく。 			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・狭山緑地の活用及び維持管理の方向性の確認 ・集客可能性の調査・聞き取り ・費用の確保 			
	(3)改革・改善案による期待成果			
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費を増加させる。